

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	ロープブリッジ渡過訓練におけるモンキー渡過実施中の負傷事故。
3. 体験した事例の中心的要素	ロープブリッジ渡過訓練を開始して2ヶ月が経過し、基本操法は習得できていた。 次の段階として、所要時間短縮に向けた技術の取得を始めており、確実性に加え迅速性をも重視した訓練を実施している最中に、渡過ロープから落下し宙吊り状態となり、その際に腰部に設定していた命綱のロープが頭側に移動し左胸部を締め付け、左第11肋骨部を負傷したものの。
4. 体験した事例の原因・理由	迅速性を重視して動作を速めたため、左手で渡過ロープを握り損なったこと。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成22年6月4日 午後7時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：訓練搭
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	その他：ロープから落下
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[救助(通常時)]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	渡過訓練
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○当事者A	年齢[26]歳、勤続年数[3]年、現場経験年数[2] 年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[28]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[1] 年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 []
○当事者C	年齢[25]歳、勤続年数[3]年、現場経験年数[2] 年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

[illegible]

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A, B, C	17時までには設営完了しており、ストレッチ、準備運動を開始。	
経過2	当事者A, B, C	ロープ渡過訓練を開始、アップをかねてセーラー、モンキー渡過往復3本ずつ開始。	
経過3	当事者A, B, C	順にロープブリッジ渡過を通して実施。 1本終了後、8分休憩。	
経過4	当事者A, B, C	通し6本終了後、15分の休憩	
経過5	当事者A, B, C	通しを引き続き実施。	
経過6	当事者A	8本目のモンキー渡過中にロープを握りそこない宙吊りになり怪我をした。引続き訓練実施。	
経過7	当事者A, B, C	10本目はモンキー渡過のフォームを重視して実施。	
経過8	当事者A, B, C	訓練終了撤収。その後クールダウン。	
経過9	当事者A	痛みが大きくなる14日まで当事者A,B,Cと共に訓練を実施。	
経過10			
経過11			
経過12			

[illegible]

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が劣っていた。危険事象の対応方法を知らなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ
b. 注意力が欠如していた	
・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

万全な体調で今までよりも、注意力を持つようにして救助訓練に取り組む様に心がけた。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

被災状況図

